指定管理施設の管理運営状況のまとめ（令和元年度分）

施設名　　松江市鹿島マリーナ
指定管理者　鹿島マリーナ株式会社
担当課　　河川課
指定期間　平成30年4月1日～令和5年3月31日

1．総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 施設周辺水域の定期的な巡回を行い漂流物を除去するなどの清掃活動を実施し、施設及び河川の安全管理に努め。年間を通じて施設内での事故やトラブルの発生もなかった。 【評価できない、または改善すべき点】 施設利用者の安全使用のための関連研修への積極的な参加など、職員のさらなるスキルアップを求める。

指定管理者	A	【優れていると評価した点】 ・事故等の発生もなく安全を第一に適切な施設管理ができた。 ・海上保安庁及び関係機関と連携し、海難救助訓練（海中転落者の吊り上げ救助、航行不能船のえい航救助）の実践を実施することができた。 ・海底清掃を実施し、水域施設の安全を保つことができた。 【評価できない、または改善すべき点】 ・契約者以外の利用者及び同船者のマナー（駐車場、水道利用、トイレ、ゴミ）が悪い為、今後、契約者に対し周知、徹底を行う。 ・施設内（管理棟・門扉等）の老朽化に伴い、修繕箇所があるので点検の強化を行っていく。

2．施設利用の増減について

総括	利用については現段階では良好であり、黒字で推移している。必要な修繕も行っており、過度に支出を抑えている様子もない。 新規利用者の獲得が今後の課題となる。

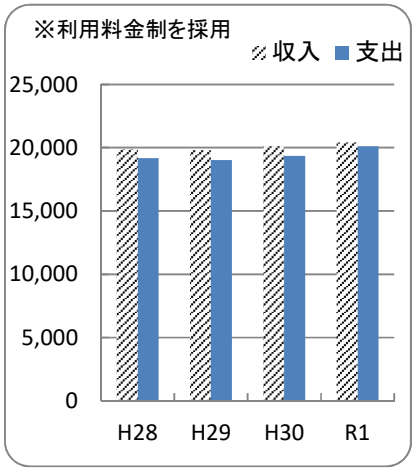
（1）収支状況の推移　（自主事業を除く）

（千円）

	項目＼年度	H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	19,863	19,827	20,094	20,417
	うち指定管理料	18,693	18,667	19,119	19,449
	うち利用料	—	—	—	—
	支出	19,181	19,015	19,342	20,095
	差引	682	812	752	322

上記以外の市の収入、支出

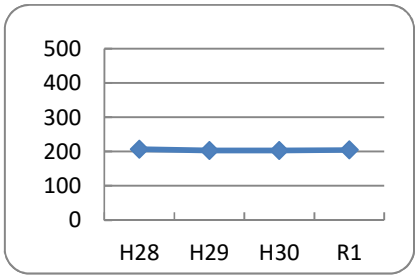
市の収支	収入（使用料）	22,849	22,845	22,849	22,271
	支出	1,170	1,160	975	1,000
	うち市の修繕費	0	0	0	0



（2）利用者の推移

（人）

H28	H29	H30	R1
207	203	203	204



【参考】産出指標（アウトプット）・成果指標（アウトカム）の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標（指標）を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標（指標）がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果（アウトプット）や活動からもたらされた成果（アウトカム）を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

A 基準値 ： 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
B 目標値 ： 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
C 実績値 ： 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	水域利用率	90	90	97	107.3%	107.3%
	使用者アンケート	70	70	80	114.3%	114.3%
アウトカム						
				達成度平均	110.8%	110.8%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 ・水域の利用率がほぼ前年と同様であったが、新規契約者の拡大に努めていきたい。 ・アンケート調査を実施し、利用者の意見・要望に応えられるように努めたい。 ・不法係留船はないが、引続き佐陀川の巡回パトロールを定期的に行っていく。	【達成度の原因・分析】 マリーナの建設目的でもあった佐陀川の不法係留対策についてはほぼ目的を達成したと考えるが、今後も引き続き対策を行っていく。 利用者の新規獲得について、さらに力を入れて取り組んでいただきたい。

（3）利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
21	①良い 6件(29%) ②普通 11件(52%) ③悪い 4件(⑲%) ※水域係留桟橋の利用についての結果	①良い　特になし ②苦情 ・佐陀川の航路に漁船が係留されているので、夜間航行をするのに安全が保たれない。(JFしまねへ連絡済み) ③要望 ・マリーナ周辺に鳥類(カモ等)の住処のなっているようで、衛生上よくないのではないか。 ・マリーナ施設内(水域)係留場所の水深が浅いため、浚渫工事を行ってほしい。 ・佐陀川航行の際、以前よりマナーが良くなっていると思いますが、まだ徹底されていない。 ・夜間施設内が暗い。

(4)住民サービス向上の事例

特になし

3. 自主事業

総括	管理棟に自動販売機を設置し、利用者に使っていただいている。 管理は設置者が行っており、指定管理者の業務を圧迫することはない。 設置台数は1台であり、事業として利益を上げるというより、利用者の利便性の向上という意味合いが強い。
実施状況	令和元年度売上:83,088円

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

○1年を通して大過なく管理できた。 ○この数年で利用者の微減が確認できるため、今後は利用者拡大が一つの目標になる。